

## 地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会宇城支部

### 地域で連携！野菜関係病害虫対策会議を開催

5月17日、熊本県野菜振興協会宇城支部は、野菜のウイルス病を媒介する微小害虫の防除について、地域で連携して対策を図ることを目的に、管内市町、JA、生産者代表等関係機関を参集し野菜関係病害虫対策会議を開催しました。

施設栽培が盛んな宇城地域では、トマト黄化葉巻病やウリ類の退緑黄化病等のウイルス病が多発しており、ウイルス病を媒介する微小害虫の防除が課題となっています。当該会議では、地域の現状や課題の報告後、令和5年産施設園芸作物の被害低減に向けて、トマト類は7月の1か月間は本ぼに作付けしないことと、ハウス密閉処理の徹底を申し合せました。さらに市町等にチラシや広報誌による周知を依頼しました。

今後、6月から7月にかけて、トマト類を中心に栽培を終了したハウスを巡回し、処理状況確認票の掲示や啓発チラシを配付して、密閉処理の実施確認と実施の徹底を呼び掛ける予定です。



病害虫対策会議の様子

#### トマト・キュウリ・メロン共通の対策（出さない対策）

<p>① ハウスを密閉し、害虫の逃げ道をふさいでから、一斉に植物を枯らしす。</p>	<p>② ハウス内の植物が完全に枯れてから10日以上経って密閉し、害虫を死滅させましょう。</p>
<p>作物は株元から切るか、根から引き抜き、ハウス内の雑草も除草します。 天候不順で作物の枯死に時間がかかると予想される場合はキルバー等古株枯死に利用できる薬剤の併用も検討してください</p>	<p>ウイルスの伝染源(つなぎり)を断ち切るため、作物が栽培されていない期間を設けましょう。</p>

#### トマト・キュウリ・メロン共通の対策（入れない対策）

タバココナジラミ類やアザミウマ類は、一つの方法だけで防除することは難しいため、様々な方法を組み合わせて結果的に減らしていくことが重要です。

①UVカットフィルム(青番) + 防虫ネット + 三重トビラ  
②粘着瓶の設置 (黄色：アザミウマ、青：アザミウマ)  
③育苗処理剤・・・等

除草 (周辺環境の整備)

運搬時にも入れない対策を!

#### トマト黄化葉巻病防除対策

黄化葉巻病の場合、タバココナジラミは、体内にウイルスを取り込むと死ぬまでウイルスを伝染することができます。  
タバココナジラミ成虫の寿命は約20~30日です。地域でトマトの作付が無い期間を30日以上設けると、ウイルスを持ったタバココナジラミは殆どいなくなります。

6月			7月			8月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
<p>6月末までに栽培終了</p>			<p>ウイルスを持つコナジラミの寿命 約30日</p>			<p>8月以降に定植し、ウイルスを持ったコナジラミの飛び込みを防ぐ</p>		
			<p>地域にトマトがない期間を30日以上設ける</p>					

啓発チラシ